

平成29年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492200272	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター藤沢		
所在地	(〒251-0003) 神奈川県藤沢市柄沢580-7		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	2017/10/03	評価結果 市町村受理日	平成30年4月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>当ホームは閑静な住宅街に建っていて、騒音が殆どない環境です。高台にある為、1階でも日当たりが良く風通しもいいです。 隣にはレストランがあり、注文すれば届けてもくれます。 利用者様の誕生日には、それぞれの方の誕生日当日にフロア全員でお祝いします（昼食にお好きな寿司の出前をとったり、隣のレストランにバースデーケーキ作成をお願いしてお出しし、皆さんと一緒に召し上がっていただきます。ケーキの味やトッピングもご本人の希望をなるべく取り入れて注文し、お店の方に対応いただいています）</p> <p>ホームでの日常は毎日とても明るく、職員と利用者様が家族の様に談笑する場面も多いです。 食器拭きや洗濯物たたみ等への取り組みも、自ら一緒に行おうとしてくださる利用者様が多いです。</p>
--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成29年10月24日	評価機関 評価決定日	平成30年3月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 本事業所は、JR東海道線藤沢駅からバスで12分ほどの高台の静かな住宅地にある。隣にはレストラン、近くには日帰り入浴施設やドラッグストアがある。周辺は坂道だが車の往来も少なく、散歩に適した環境にある。建物は鉄骨2階建てで居間・食堂・キッチン、スタッフルームとユニットが玄関近くにあり、職員が見守りやすい間取りとなっている。共有空間は陽当たりが良く清潔で風通しがいい。食堂に接して和室がある。訪問時は、ハロウィンの時期だったので、天井から万国旗を飾るなど季節感を感じさせる演出が施されていた。</p> <p>【緊急時に対応した準備】 「ご入居者容態急変時の基本連絡ノート」を日中と夜間の2種類作っている。これは利用者の容態が急変した場合には、職員が誰に何をどう伝えたいのか、連絡方法を分かりやすく表示したものである。これは夜間でも冷静に対応できるツールとなっている。</p> <p>【清潔感あふれる室内と入浴対応】 本事業所は他事業体から引き継いだ建物で、築年数は13年を経過しているが、年数を感じさせないほどに清潔感がある。入浴に関しても利用者一人が使うごとに湯を交換して入浴は1日3人に限定して、清潔に気をつけている。</p> <p>【食品材料を使い切ることによる安全への配慮】 肉は肉屋から、魚は魚屋から仕入れている。その他の野菜や乾物などはネットスーパーを利用し、配達してもらっている。毎日届く食材は、日付を記してエコパックに詰め、冷蔵庫に保管することにより、食品材料を残すことなく使いきるようにしている。こうすることにより無駄な費用の発生を無くしている。さらには、これにより鮮度チェックができ、食中毒の予防にもなっている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター藤沢
ユニット名	湘南の里

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りにて社是を唱和して管理者・職員一同共に意識づけしている。事業所理念を各ホールにて張り出している。	理念は「みんなの笑顔のために」である。この理念を利用者が習字で書き、横断幕のようにしてキッチンのカウンターの壁面に貼り、職員は毎日理念を確認し、笑顔を念頭に置いて利用者を支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一年の行事にて夏祭りやクリスマス会・ニチイ祭りを行い、地域の方に声をかけ参加して頂いている	柄沢町内会に加入している。事業所のイベントは毎月のように行われ、地域への声掛けを予定している。地域との交流はこれからである。習字と歌のボランティアが毎月来訪し、利用者の楽しみとなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	問い合わせや見学には随時対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回運営推進会議を開いている。現在のホームの状況や意見交換をしてサービスの質の向上に努めている	2カ月に1回開催している。出席者は利用者家族と地域包括支援センター職員、事業所職員である。町内会長、民生委員、市の参加はない。家族から歌のボランティアの際、歌詞カードを用意したらどうかなどの提案があった。	現在、市に議事録を提出しておらず、地域包括支援センターから市に参加を呼びかけたらとの提案があった。今後は市への参加呼びかけを期待します。

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	概ね2ヶ月に1回運営推進会議を開いている。村岡地区福祉関係者ネットワーク部会に参加し関係を築いている。	市の介護保険課には事故報告などで連絡している。村岡公民館主催のネットワークに参加し、敬老会など地域行事の情報や藤沢市の情報を得ている。	
---	---	--	---	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。 年に一度は身体拘束研修を行っている。	玄関は施錠しているが、ユニットドアは施錠していない。 外に出掛ける利用者には職員から声をかけ、一緒に外出している。ダメなどの命令調の声掛けは行わないよう指導している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	常日頃から利用者様へ対する支援や利用者様の様子・状態の報告を受けている。 年に一度は高齢者虐待防止法について研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員に権利擁護や成年後見制度の資料を配布している。 年に1回、研修を行う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族、利用者様に説明を十分にして質問があればその都度説明し理解・納得を頂いてから契約を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けている。ご家族様来訪時に意見交換をしている。 利用者様には日頃の業務の中から要望や意見を聞いている。	家族会はないが面会に来てくれる家族は多い。その際に家族から意見を聞いている。居室の清掃は清掃当番の職員が行う。家族からの「床以外の部屋の清掃もしてほしい」という要望を取り入れ「環境整備の日」を設定した。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のホーム会議やユニット会議にて職員からの意見や提案を聞き運営改善反映に努めている。	1カ月に1回、同日にユニット会議とケアカンファレンスを開催して職員の意見を聞いている。職員意見により利用者の食事内容を変更し「むせ込み」を改善したケースがある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度にてスキルがアップしている職員には給与アップを行っている。希望に見合った勤務体制に努めている。個々の面談を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月のホーム会議にて職員研修を行っている。社外研修を受ける機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	介護研修を設けており、希望する職員は参加している。そこで同業者と交流する機会になっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前相談時にご家族様・本人様等の声に耳を傾けている。安心して生活が出来る様に随時声かけを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様来訪時に困っている事や相談等を受けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様・ご利用者様から話を聞き必要なサービスなのかを確認して対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	以前の生活に近づけるように共有部分を取り、出来ない事には支援をして、お互いの関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪時にはご家族様に生活の様子をお伝えし、相談を受けて、関係を築いている。電話時も意見交換をして関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームでの行事にはご家族様を招待している。電話や来訪・お手紙にて関係が途切れないように努めている。	家族が来訪した際は、居室または食堂に案内し、湯茶でもてなしている。入浴時に洗髪を嫌がる利用者がいたため、家族が馴染みの美容室に同行し洗髪をした。また管理者と一緒に外出して馴染みの店でズボンを購入した男性利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が気兼ねなく会話出来る様な座席にしている。お互いが出来ない事を支え合える様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても関係を切らぬ様にその後の様子を伺っている。相談等を受けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様や利用者様の日頃の会話から希望・意向を汲み取りユニット会議に反映させている。	意向の把握が難しい利用者は6人いる。「なんでもノート」を作り、意向の把握の難しい人の情報を記録し、職員は業務前にこのノートを見ることで意向や対応方法を確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様や利用者様の会話から今までの生活について聞き出し、利用者様のしたい暮らしが出来る様に把握し努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録を記録し体調や生活状況を把握している。更に必要な事は連絡ノートに記入し職員同士で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議にて意見交換をし、介護計画書に反映させている。	居室担当制を敷いており、ほぼ全員が居室担当者である。居室担当者は居室の世話と共に利用者のケアプランについても意見を述べている。カンファレンス前に「事前シート」に問題点を記録し、それを基に計画担当者との話し合いを行っている。	

27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録を読み気になる点や様子について提案・相談をし、管理日誌や連絡ノートに記入し情報の把握・共有に活かしている。</p>		
----	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度、最良のサービスを提供出来る様に柔軟な支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	老人会の催しを定期的を確認し、可能な内容で希望の利用者様がいる際には通知し、参加していただいている。ボランティアグループへ相談し定期的な来所を依頼し対応いただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人ご家族の意向を確認し、希望により元々のかかりつけ医への受診を継続していただいている。	提携医が毎月2回、訪問看護師は毎週来訪している。家族対応により従前からの医師にかかっている利用者は2名いる。受診後は「受診ファイル」に内容を記録し情報共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設で2回/日バイタルチェック行い、記録すると共に1回/週訪問看護による状態確認や必要な処置・助言を受けている。訪問看護や提携医への必要随時の報告・相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は介護サマリーを軸に経過等必要な情報提供を行っている。入院中もご家族や病院医療相談室と随時連携・相談を行い退院時・退院後のスムーズな対応ができるよう留意している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所契約時から折にふれて家族の意向を確認する様にしている。	提携医や訪問看護師とは医療連携を行っている。現在「容態急変時の基本連絡ルート」という連絡方法を明示したイラストを作成している。	看取りを前提とした研修の実施を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応ファイルをフロア毎に設置している。リスクマネジメント研修を行っている。感染症研修に参加している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の消防訓練・消化・通報訓練を実施している。職員同士で避難経路や災害時の対応の情報を共有している。	年2回の防災訓練では夜間想定訓練も行っている。これまでは近隣に声掛けを行っていないが、今後は予定している。備蓄リストを作成し、飲料水や食品等は3日分を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉かけを心がけている。	申し送りなどは利用者の目の届かない場所で行い、利用者の個人名は出さずに部屋番号に変換している。声掛けの際は、利用者の氏名に「さん」を付けている。個人情報を含む書類は鍵のかかる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の日常の中での会話にて本人の思いや希望を聞き取り、自己決定できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースに合わせて、その日の気分を配慮し、過ごしたい過ごし方の希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容院に通えるようご家族様と相談し、対応している。自己決定が難しい方には数種類洋服を用意し、その日の気分で選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗い・食器拭きに自発的に参加なさっている。また盛り付けや簡単な下ごしらえをして下さる利用者様もいる。	食器拭きを自分の仕事として手伝ってくれる利用者がある。隣のレストランからは誕生日にケーキを届けてもらっている。食材は担当職員が注文している。届けられた食材は食中毒を防ぐためにも日付をつけ冷蔵庫で保管して使いきっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は毎日記録して把握している。食事をなかなか摂られない時には、時間を置いたり、好みの物を提供する様に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内清潔保持の為、毎食後口腔ケアを実施。その人の状況に応じて職員が口腔ケアをお手伝いしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間毎・本人様の様子を推察して声かけを行いトイレでの排泄が出来る様心がけている。	トイレ誘導は時間を決めて行っている。夜間はオムツを利用している人が1名、他の方はパッドを使用して睡眠を優先している。尿意を感じない利用者が4名おり、パッドで対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・内服薬にてコントロールしている。運動をする事で便秘予防し、ヨーグルトやR-1・ジョアなどを提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入りたいという希望時には入浴している。入浴の声かけをしているが、本人様のその時の気分を考慮し入浴して頂いている。	湯船のお湯は1人ずつ換えており、1日に3人の目安で入浴している。ヒートショック対策としてエアコンが設置されている。同性介助を希望する利用者が1名おり、対応している。ゆず湯や菖蒲湯など入浴を楽しめる工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の状況に合わせて空調を整えたり、その時の体調を考慮しお昼寝をして頂いたり、その時の状況に合わせて対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬一覧ファイルに個々の薬の説明書を入れている。変更があれば随時連絡ノートに記入し職員間で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力に見合った役割を担って頂いている(洗濯物たたみや食器洗い・食器拭き・庭仕事等)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎回希望の度に外出は出来ないが、出来る限り外出出来る様になっている。苺狩りなどの行事を実施している。	毎日ではないが、天気の良い日は近くの神社まで散歩をしている。車いすの利用者も出掛けている。遠方への外出としては利用者全員でいちご狩りに出かけた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望時に使える様に支援している。職員と買い物に行ったり、好きな物・欲しい物も一緒に買いに行かれる方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望時には時間帯はあるが使用している。手紙のやり取りは職員が間に入り対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフロア・食堂に季節の飾り付けをしている。空調管理は随時行っている。音・光・色等にはその都度対応している。	食堂は床暖房となっている。高台に建っているので風通しはよい。壁面には利用者が書いた習字の作品が掲示してある。ハロウィン等の季節を感じる飾り付けを行っている。清掃は清掃専門の職員が行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人用ソファを設置し一人になれる空間作りをしている。二人用ソファを設置し、気の合う方同士で会話出来る空間作りをしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と相談し、使い慣れた物を使って頂いている。設置時は安全を考慮し設置している。	備え付けはエアコン、カーテン、クローゼット、換気扇、ハンガーである。ベッドは私物もしくはレンタルである。掃除は居室担当が行うが、手伝う利用者もいる。家族からの声もあって、床の清掃日と家具等の清掃日を分けて行うことにより居室の清掃の徹底を図っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	物の置き場所を決め、元に戻しやすいうようにしている。各居室の出入りに表札を貼り利用者様がわかる様にしている。		

事業所名	ニチイケアセンター藤沢
ユニット名	富士の里

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りにて社是を唱和して管理者・職員一同共に意識づけしている。事業所理念を各ホールにて張り出している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一年の行事にて夏祭りやクリスマス会・ニチイ祭りをを行い地域の方に声をかけ参加して頂いている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	問い合わせや見学には随時対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回運営推進会議を開いている。現在のホームの状況や意見交換をしサービスの質の向上に努めている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	概ね2ヶ月に1回運営推進会議を開いている。村岡地区福祉関係者ネットワーク部会に参加し関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない 年に一度は身体拘束研修を行っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている	常日頃から利用者様へ対する支援や利用者様の様子・状態の報告を受けている。 年に一度は高齢者虐待防止法について研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員に権利擁護や成年後見制度の資料を配布している 年に1回、研修を行う		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族、利用者様に説明を十分にし質問があればその都度説明し理解・納得を頂いてから契約を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けている。ご家族様来訪時に意見交換をしている。 利用者様には日頃の業務の中から要望や意見を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のホーム会議やユニット会議にて職員からの意見や提案を聞き運営改善反映に努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度にてスキルがアップしている職員には給与アップを行っている。希望に見合った勤務体制に努めている。個々の面談を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月のホーム会議にて職員研修を行っている。社外研修を受ける機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	介護研修を設けており、希望する職員は参加している。そこで同業者と交流する機会になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前相談時にご家族様・本人様等の声に耳を傾けている。安心して生活が出来る様に随時声かけを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様来訪時に困っている事や相談等を受けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様・ご利用者様から話を聞き必要なサービスなのかを確認し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	以前の生活に近づけるように共有部分を取り、出来ない事には支援をしてお互いの関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪時にはご家族様に生活の様子をお伝えし、相談を受け関係を築いている。電話時も意見交換をし関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームでの行事にはご家族様を招待している。電話や来訪・お手紙にて関係が途切れないように努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が気兼ねなく会話出来る様な座席にしている。お互いが出来ない事を支え合える様支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても関係を切らぬ様にその後の様子を伺っている。相談等を受けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様や利用者様の日頃の会話から希望・意向を汲み取りユニット会議に反映させている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様や利用者様の会話から今までの生活について聞き出し、利用者様のしたい暮らしを出来る様に把握し努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録を記録し体調や生活状況を把握している。更に必要な事は連絡ノートに記入し職員同士で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議にて意見交換をし、介護計画書に反映させている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を読み気になる点や様子について提案・相談をし、管理日誌や連絡ノートに記入し情報の把握・共有に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度、最良のサービスを提供出来る様に柔軟な支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	老人会の催しを定期的を確認し、可能な内容で希望の利用者様がいる際通知し、参加していただいている。ボランティアグループへ相談し定期的な来所を依頼し対応いただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人ご家族の意向を確認し、希望によりもともとのかかりつけ医への受診を継続いただいている。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設で2回/日バイタルチェックを行い記録すると共に、1回/週訪問看護による状態確認や必要な処置・助言を受けている。訪問看護や提携医への必要随時の報告・相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は介護サマリーを軸に経過等必要な情報提供を行っている。入院中もご家族や病院医療相談室と随時連携・相談を行い退院時・退院後のスムーズな対応ができるよう留意している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所契約時から折にふれて家族の意向を確認する様にしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応ファイルをフロア毎に設置している。リスクマネジメント研修を行っている。感染症研修に参加している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の消防訓練・消化・通報訓練を実施している。職員同士で避難経路や災害時の対応の情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉かけを心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の日常の中での会話にて本人の思いや希望を聞き取り自己決定できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	利用者様のペースに合わせてその日の気分を配慮し過ごしたい過ごし方の希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの美容院に通えるようご家族様と相談し、対応している。自己決定が難しい方には数種類洋服を用意しその日の気分で選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗い・食器拭きに自発的に参加なさっている。また盛り付けや簡単な下ごしらえをして下さる利用者様もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量には毎日記録にて把握している。食時をなかなか摂られない時には時間を置いたり、好みの物を提供する様に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内清潔保持の為、毎食後口腔ケアを実施。その人の状況に応じて職員が口腔ケアをお手伝いしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間毎・本人様の様子を推察して声かけを行いトイレでの排泄が出来る様心がけている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・内服薬にてコントロールしている、運動をする事により便秘予防・ヨーグルトやR-1・ジョアなどを提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入りたいと希望時には入浴している。入浴の声かけをしているが、本人様のその時の気分を考慮し入浴して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の状況に合わせて空調を整えたり、その時の体調を考慮しお昼寝をして頂いたりとその時の状況に合わせて対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬一覧ファイルに個々の薬の説明表を入れている。変更があれば随時連絡ノートに記入し職員間で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力に見合った役割を担って頂いている(洗濯物たたみや食器洗い・食器拭き・庭仕事等)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎回希望の度に外出は出来ないが、出来る限り外出出来る様になっている。 苺狩り行事実施。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望時に使える様に支援している。職員と買い物に行ったり、好きな物・欲しい物も一緒に買いに行かれる方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望時には時間帯はあるが使用している。手紙のやり取りは職員が間に入り対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフロア・食堂に季節の飾り付けをしている。空調管理は随時行っている。音・光・色等にはその都度対応している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人用ソファを設置し一人になれる空間作りをしている。二人用ソファを設置し気の合う方向士で会話出来る空間作りをしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と相談し、使い慣れた物を使って頂いている。設置時は安全を考慮し設置している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	物の置き場所を決め、元に戻しやすいうようにしている。各居室の出入りに表札を貼り利用者様がわかる様になっている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター藤沢

作成日 平成30年3月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	市に議事録の提出をする。地域包括センターから市に参加の呼びかけをとの提案あり	多くの方に参加して頂けるように市の方、民生委員や自治会長、オーナーに呼びかけをし参加して頂き地域との連携を図る。	各方面へ連絡し参加して頂ける様に調整を図る。	4ヶ月
2	12	看取りについての職員の認識・理解が不足している	重度化した時の職員間での情報共有・ご家族様・訪問診療・訪問看護との連携をきちんと図れる様にする。	看取りについての基本から研修を行い。その上で他職種・ご家族様と連携を図れる様に取り組み尚且つ、情報共有をしっかりと図る。	4ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。